

5 つのつぶやきとエコプラザ

1 ぶんぶんゴマ

子どもの頃、おばあちゃんが大きなボタンでぶんぶんゴマを作ってくれたな。
私も子どもにつくり方を教えてあげようかな。
だけど大きなボタンはウチにないな。

こんにちは。

たくさんあるんですね。もらっていいですか？

- どうぞどうぞ。使った後ごみにしないでくださいね。

これはごみだったのですか？

- 家庭ごみを収集してクリーンセンターに持ち込まれた衣類のものです。

服からボタンを外したんですか？

- 毎月、洋服分解ワークショップをしていて、参加者がボタンを外して分類したものです。分解した生地も糸もありますよ。

楽しそうですね。

- 今度の日曜日にあるのでよかったら参加しませんか。参加費 200 円ですが。みんなおしゃべりしながら楽しそうに手を動かしています。

子どもと一緒にでもいいですか？

- もちろんどうぞ。お子さんの参加は多いので。予約の必要はありませんから当日ここに来てください。

来ます！

そういえばおばあちゃんも着なくなった服からボタンだけ外して取っておいたのかもしれないなあ。

→新たに買わなくても使える素材がある。

「素材ライブラリー」

→すてなくてもいい方法のヒントをくれる機会がある。

「ごみ素材化ワークショップ」

2 着物

母の形見の着物すてられない。ふ〜。

こんにちは。

- いらっしゃい。

ステキなバッグですね。

- すべて廃棄された素材で作られています。

へー、これも？

- これは裂織ですね。古い着物を紐状に裂いて織った生地できています。

着物ですか。うちにも着ない着物があるんですが、こんなバッグなら使いたい。

- 着ない着物を箆笥にしまっている人は多いみたいですね。先日もしらいいかと相談に来た方がいました。
- 着物を買取る市内の業者や、洋服に仕立て直してくれる方、裂織の作家さんも紹介しました。

どうしたんですか？

- すべて直接話を聞いたそうですが、結論はまだ出ていないそうです。でも、すてないことは決めたとおっしゃっていました。着なくても他の可能性があるならもうしばらく考える。

へー。

- 来月裂織の事業があるので参加しませんか。神戸から作家を招いて行きます。作家さんがここにしばらく滞在して、いらなくなった着物を集めるところから行きます。

面白そう。参加したいです。どうすればいいですか？

- 5回シリーズで毎回定員があるのでウェブから予約してください。参加費が5回通して10,000円、1回だと2,200円です。

わかりました。ところで作家さんはどこに寝泊まりするのですか？

- 市内の空き家を無償で借りられないか交渉しているところです。なければ市の臨時宿所を使おうかと思っています。お風呂がないので、クリーンセンターの事務所棟にあるお風呂を使ってもらおうかと。ホームステイもいいと思ったのですが、今回は準備できませんでした。

そうですか。ありがとうございます。

母の形見を自分でバッグにできるかも。

→すてなくてもいい方法のヒントをくれる展示がある。

「展示事業」

→すてなくていい方法を一緒に考えてくれる人がいる。

「相談機能」

→そのためのつながりがある。

→すてなくてもいい方法のヒントをくれる機会がある。

→全ての取り組みをプロジェクト化する。

→風の人（外部の専門家）の視点を取り入れる。

「プロジェクト事業」

「滞在型事業」

→風の人を地域で受け入れる。

「地域滞在機能」

3 お屋敷

あの立派なお屋敷が無くなった！昨日まであったのに。
屋敷どころか植木もない。

あそこの角のお宅取り壊されて何もなくなっていたけど、ああいうごみはどこに行くのですか？

- 法律で処理方法が定められていて多くは資源化されます。

資源化？

- 例えば木材はチップにして建材の材料になります。

リサイクル的には問題ないんだ。

子どもの頃住んでいた家の隣に、あの家と似た雰囲気の家があって、何の用かときどき母と一緒に邪魔した時のことを思い出します。

感じのいいおばあちゃんが椅子に座って編み物をしていて、そばに調度品のようなテーブルがちょこんと置いてあって、ステレオから静かな音楽が流れていて、天井から下がったライトの傘が金魚鉢みたいで可愛くて、縁側の向こうからお花のいい香りがしてきて、出してくれたケーキがすごく美味しくて。

あの家もずうっと空き家だったみたいだけど、家の中の物はどうしたんだろう？家具とか何か。

- 引っ越しで出るごみはクリーンセンターに持ち込まれることも多いけど、売却の場合は業者に一括で処分してもらうケースが多いみたいです。

処分てどうするんですか？

- 遺品のようなものは整理して親族に渡されるでしょう。それ以外のもので使えそうなものは中古市場に流れて、使えないものは廃棄物処理業者に渡るのでしょね。

なんかもったいないですね。家の物がすてられることもそうだけど、あの佇まいを好きな人がいたはずなのに、それとは関係なくある日突然消えてしまうことに、寂しさを感じますね。

せめて空き家になっている間に、あの家を気に入っている人同士でシェアできるといいのに。

- そうですね、市内にはそういう家がまだたくさんありそうです。

どうしたらいいかわかりませんが、どうにかできたらいいですね～。

- 今度モヤモヤ・カフェに来ませんか？

なんですかそれ？

- そういうどうしていいかわからないモヤモヤをみんなで持ち寄って語り合う場です。ひとりでモヤモヤするよりみんなですべてを飲みながら話すとちょっとすっきりするし、いいアイデアが出やすくなります。

→すてなくていい方法を一緒に考えてくれる人がいる。そのためのつながりがある。

「モヤモヤ・カフェ」

いつですか？

- 毎週日曜日の朝8時からここです。参加費無料で誰でも自由に参加できます。飲み物は有料ですが。

朝なんですかね。どんな人が参加するのですか？

- もちろん自分のモヤモヤを持ち込む人が参加しますし、事前にモヤモヤをフェイスブックで告知することもできるので、それを見て関心のある人が来たりします。ただ人のモヤモヤを聞くのが好きで来る人もいますし、単に一緒に話をするのが楽しくて毎回参加する人もいます。朝ご飯を食べながらの人もいますよ。要するに誰でも参加できます。

→誰でも、いつでも参加できる場。

あまり生産的ではない気が。

- そうですね、でも何回か続けるうちにプロジェクトになったものもあります。「井戸プロジェクト」は、井戸がある古いお宅があったのですが、そのお宅が敷地をマンション業者に井戸毎切り売りすることになって、近所の人が井戸だけは残したいのだけど、市に話してもどうにもならなくてと、ここに参加したことからはまったもので、そのうち、マンション業者も井戸の再生や管理にお金を負担してくれるのであれば残して地域の人で利用できるようにしてもいいということになり、クラウドファンディングで資金を集めて残すことができました。マンション業者も敷地の一部に菜園を整備して、入居者と地域の人が井戸の水を利用して野菜を作っています。

→全ての取り組みをプロジェクト化する。

→全て関心のある人が企画から参加する。

「市民発意型プロジェクト支援事業」

そこまでできたらすごいですね。参加しようかちょっと考えてみます。

お屋敷プロジェクトになるかなー。

4 修理

修理代がそんなにするのか？部品や材料代はたいしたことないけど、出張代が1万5,000円。☺

これ自分で直そうと思うと材料はともかく道具を揃えるだけでも大変だ。そもそもマンションでできるか？

道具を借りたいのですが。

- どうぞお好きなのを使ってください。

ここで修理してもいいのですか？

- 工房長がいる時ならいつでもどうぞ。

今はいないのですか？

- 残念ながら今はいないですね、その場合あなたが工房長になることもできますよ。

ええ、工房長？

- はい。工房長は自分の作業をしながら、見学に来た人や相談に来た人の対応をします。

相談で、無理です素人なので。

- 修理のワークショップに参加しませんか。ちょうど今日午後から、本宿小学校の技術科室で開催します。一人くらい空きがあったと思います。ワークショップに参加すれば明日から工房長になれますよ。

本宿小学校ですか。ちょっと遠いな。

- お住まいはどこですか？

関前です。

- 関前南小学校は来月になってしまいますね。来週千川小学校でやりますよ。

そうですか。ありがとうございます。

1万5,000円払うのやめて、行ってみようかな。

→古くなったり、壊れたりしたものを直して使えるようにできる場所、道具がある。

「道具ライブラリー」

「リペア工房」

→利用者をお客さんにしない。利用者同士で学び合う関係

→修理の技術を教えてくれる人がいる。その機会がある。

→エコプラザからも地域に出かける。

「地域連携お出かけ事業」

→市域全体を捉えた事業を展開する。

「ネットワーク機能」

5 映画

こんないい映画市民にも観てもらいたい！

こんにちは。「365日のシンプルライフ」という映画の上映会を企画しています。市民のライフスタイルを変えるというエコプラザの理念に通じる映画です。企業から協賛を集めるのに、ぜひ後援してください。

- いい映画だと聞いています。でも後援よりもっといい方法があるかもしれません。今度の日曜日に「モヤモヤ・カフェ」があるのでその話をしませんか。いろんなアイデアが出ると思います。
- それ、このプラットフォームで上映したらどうかな。新クリーンセンターに持ち込まれたシートをスクリーンにして。バトンも手作りできるんじゃないかな。夏場だったら、夜、芝生広場でやってもいいかも。

配給会社に支払う資金が必要なのです。それを集めて、大野田小学校や千川小学校で上映したいのです。

- 市内で巡回上映するようなものだったら、配給会社に支払って上映するより、映画を作ったらどうかな、その映画と同じように所持品すべてエコプラザに預けて、1日一品選択することを誰かが実践して、それを撮影する。
- 一年かけたプロジェクトにするってことか。それを来年エコプラザで上映する。それは相当インパクトがあるよ。
- その企画を考えるプロジェクトチームを作りましょう。

えええ??!

- プロジェクト化すればエコプラザとの共催事業としてこの場所を使うことができます。

思わぬ展開になっちゃったなー。

→「こうしたことができたらいいな」に耳を傾け、一緒に考え、取り組む。それができる人のつながりがある。

「モヤモヤ・カフェ」

→全ての取り組みをプロジェクト化する。

→全て関心のある人が企画から参加する。

「市民発意型プロジェクト支援事業」

→エコプラザがプラットフォームになって、市民個々のしたいことを後押しする。

「市民共催事業」